

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月12日更新

事務事業名		学校給食運営事業			<input checked="" type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展			
総合計画体系	政策	3	教育の健全		所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	末永 舞
	施策	9	義務教育の充実		所属課	学校教育課	担当者名	高岡英之、吉岡敏夫、坂本香織
	業務分野	33	食育の推進		所属班	学校給食班	(内線)	(外線)248-2102
予算科目		会計一般	款 10	項 6	目 3	事業連番 10683	法根拠	学校給食法
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	給食センターの施設・設備・配送車等のメンテナンス、調理に必要な消耗品の購入、光熱水費の支払い、非常勤調理員の雇用及び健康管理等を適切に行い、合志小、合志南小、南ヶ丘小、合志中の児童生徒、約2,700人に栄養バランスの取れた、温かい学校給食を年間約190回前後提供した。 合志風の森小学校・合志風の森中学校の自校方式の給食施設の運営について、業務の一部について民間委託しており、その業務の管理事務を行った。 令和4年度以降も学校給食に関する施策を効果的に推進するために、また、引き続き安心で安全に安定的においしい学校給食を提供し続けるにあたり、将来にわたる学校給食の在り方等について検討するため、「合志市学校給食施設及び運営検討委員会」を立上げ、将来のあり方について検討を行い、令和5年1月26日に検討内容報告書により、市長に報告し事業を進めている。
【業務の流れ】	毎月(8月除く)の給食委員会において、4校の給食担当職員・PTA役員と各月の献立の検討を行い、給食センター運営委員会においては給食費執行状況の監査等を行う。調理体制について、給食センターでは正規職員2人、会計年度任用職員約30人で約2,700食の調理を行う。自校方式の施設については、各小中学校の学校運営の中で学校給食を提供している。
【主な予算費目】	給与(R2~給料、職員手当等) 光熱水費 消耗品費 役務費 委託料 補助金 合志風の森小・中学校給食施設運営事務(委託料)、西合志地域の学校給食施設の更新関係予算(設計費、用地費、工事請負費)

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

児童・生徒の心身の健全な発達に資するとともに、食育を推進するために安全・安心で栄養バランスのとれた学校給食の提供を行った。令和3年4月の開校時から合志風の森小・中学校の自校方式の給食施設の運営について、業務の一部について民間委託を行っている。西合志地域の自校方式の給食施設について、センター方式での施設更新の方針を決定した上で、用地取得の協議を進めた。また、自校方式施設のうち、西合志中央小、西合志南小、西合志中について、近年の児童数増による現在食数に対し、調理スペースが不足するため、自炊→委託炊飯に変更することにより、概ね滞りなく給食を提供することができた。センター方式施設の合志給食センターについては、給食調理員の不足の影響を最小限にするべく、メニューの見直しやカット野菜(加工品)のやりくりにより、概ね滞りなく給食を提供することができた。令和6年度中、2件の給食提供ができない事案が起きた。5月31日に西合志南中で調理中の空焚き事故、6月3日に合志学校給食センターで給水ポンプの突発的な故障によるもの。応急処置を含めた事後対応を行ない、次の日以降の給食提供への影響を最小限に対応した。

②7年度計画(次年度に計画している主な内容)

学校給食に関する施策を効果的に推進するために、また、引き続き安心で安心して、栄養バランスのとれたおいしい学校給食を安定的に届けたいために、「合志市学校給食施設及び運営検討委員会」の検討内容報告書を基本に、事業を進めていく。具体的には、施設整備、既存施設設備の維持管理や衛生管理、調理職員の健康管理等を適切に行う。引き続き、給食調理員の人員不足の解消に向けての対応を行う。合志風の森小・中学校の自校方式の給食施設の運営について、業務の一部について民間委託をしており、その業務の管理を行う。西合志学校給食センターについては、令和7年度に用地取得及び実施設計業務を進め、令和9年度に建設事業を予定する。合志学校給食センターについては、令和8年度は厨房機器導入から14年目となるので、計画的な更新計画(アセットマネジメント)を予定し、令和9年度以降に厨房機器の更新を計画的に進めていく。また、施設内のLED照明への更新のための設計及び工事をする。

③予算の主な増減の理由

人事院勧告による会計年度任用職員給が増額したため、給料の増
西合志学校給食センターの実施設設計に伴う委託料の増(当初予算)
及び用地取得のための公有財産購入費の増(6月補正)

成果指標	(単位)	データ取得方法
調理に支障をきたした件数	件	

(2)成果指標・総事業費の推移		単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
成果指標	ア イ ウ	件	0	0	0	2	0	0	0	0
事業費	国庫支出金	千円					355,719			
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円			45,000		1,661,500			
	その他	千円	1	6	2,222					
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	224,787	255,669	295,202	328,273	805,252	238,952	404,632	384,896
(A)事業費計	千円	224,788	255,675	342,424	328,273	2,822,471	238,952	404,632	384,896	

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

安心安全な給食の提供がスムーズにできるように、施設設備や厨房機器の維持管理を確実に行った。

(4)今後の事業の方向性

廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)